

## 【学校での熱中症対策】

学校における熱中症対策の1つとして、毎日、『暑さ指数計』を活用して、『暑さ指数』を計測しています。それをもとに、外での活動や体育の実施について、判断しています。活動中も子どもたちの様子を見守り、無理のないように休憩しながら、こまめな水分補給に心掛けて、安全第一で行っています。また、ミストシャワーを取り付けて、運動場での体育の授業や休み時間等に活用できるようにしています。

### 「熱中症予防運動指針（尼崎市版）」

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	運動の実施の可否	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外に出るのを避け、涼しい室内で過ごす。</li> <li>・屋外や体育館での活動及び水泳指導は、中止、延期または活動時間を変更する。(体育大会も含む)</li> </ul>
31～35℃	28～31℃	取重警戒 (激しい運動は中止)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。</li> <li>・運動する場合には、頻繁に休息をとり、水分(塩分)の補給を行う。(15分に1回程度)</li> <li>・体力の低い人、暑さに慣れていない人(8月など)は運動を中止する。</li> <li>・体育館等を使用した乗車等は、短時間とする。</li> </ul>
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休息)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。</li> <li>・激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。</li> </ul>
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。</li> <li>・熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。</li> </ul>
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。</li> </ul>

\*各学校園において、グラウンドや体育館等の活動場所です定期的に暑さ指数や気温を計測し、この表に基づき校園長が運動の実施の可否を判断し、教職員に周知し、活動内容を確保する。

## 学校での活動の様子

### 【1・2年生『学校たんけん』6/3（木）6/4（金）】

1・2年生で学校たんけんを行いました。2年生が1年生に校舎内を案内して、特別教室などをグループで回りました。お兄さん、お姉さんになった2年生が、優しく1年生に場所を教えてあげながら、いろんな場所を回りました。



### 【3・4年生『自転車交通安全教室』6/4（金）】

3・4年生は、自転車交通安全教室を行いました。雨天で自転車の実技講習はできませんでしたが、自転車の乗り方、交通ルールを守ることなど、事前にテストを受けて、答え合わせをしながら、確認しました。また、「自転車に危険な乗り方をして、交通事故を起こしてしまう」というビデオを見て自転車のこわさを学習しました。



### 【5・6年生『アウトリーチ事業おでかけアルカイック 音楽鑑賞』6/11（金）】

5・6年生は、プロの音楽家「ルフトムジカ」さんの演奏を聴きました。チェロとバイオリンとピアノの演奏を音楽室で鑑賞しました。知っている曲に自然に体を揺らしながら聴き、身近に楽器を見ることや指揮体験もすることができ、素敵な音楽会になりました。

